

題字

第三代東ト協会長

浅井 時郎氏

ロジ研ホームページ

<http://www.ttl.jp>

No. 343 / 2025年11月17日発行

(一社) 東京都トラック協会

ロジ研発行

編集人 菅沼 寛二

東京都新宿区四谷3丁目1番8号

TEL. 03-3359-4137

FAX. 03-3359-6020

ロジ研年間統一テーマ：一致団結

\*\*\*\*\*

## ◆『大人の社会科見学2(R7.9.8)』

副本部長・総務委員長 大島 弥一  
〔新宿支部 大島運輸(株)〕

ロジ研としては3度目の京都訪問を「大人の社会科見学2」と題して開催しました。前回は直前まで小雨が降っており、果たして川床で宴を楽しむことが出来るか心配しながら現地に向かい、田中本部長(当時)の判断で決行し、宴会中も木々に残った雨露が時折落ちてくる中、川床で風情を楽しむことが出来ました。

今回は3週間前に大雨で増水し、川床が崩れ食事中のお客様が流されるとニュースにもなっていましたので、開催できるかが心配でしたが10日前には営業再開したとの連絡をもらいました。ただどこも人手不足で送迎が出来るか直前にならないと分からずと言われていましたが、ドライバーの手配できたことで、17時前に「国際会館前駅」へロジ研メンバー10名が集合し、貴船へと向かいました。宴席はライトアップと傘の飾りつけで前回より幻想的な風景に変わっており、初参加の方もその風情と関西風すき焼きを堪能して頂けたかと思います。ただお肉の追加注文なしにお腹一杯になったのは私含め歳のせいでしょうか。。。そして19時30分には退店となるのですが、やはりその時刻になると辺りは真っ暗で、初めて来た17年前に比べると閉店した店舗も多く、この時刻になると寂しいなあと感じました。参加メンバーはそれぞれホテルに帰る人、大阪に向かう人、そして祇園方面に遊びに行く人と別れ、各自の夜を楽しまれた事でしょう。

今回は午前中に京都入りして初めて伏見稻荷大社を参拝しましたが、時間の関係と同行したメンバーとの調整で、残念ながら千本鳥居までは行けなかったので、こちらも次回への課題としたいと思います。それから駅に戻りランチに京風うどんを楽しみ、15時のチェックインを目指して移動しました。翌日は大阪を楽しんで帰りました。

私は中学、高校の修学旅行で関西方面へ2度行っていますが、子供の頃とは景色も気持ちも楽しみ方も違います。次回は早めにアナウンスしたいと思いますので、今回参加できなかった人も一度ご参加いただき、日本の良さと京都の文化を楽しんでいただきたいと思います。また来年以降も企画していきますが、近畿地方に限らず、ここへ行きたいという場所があればぜひ提案していただけますようお願い申し上げます。

## ◆『私の人生？バイクライフ』

幹事・広報委員 中村 克敏  
〔城東支部 (株)中彦運送〕

この度、菅沼委員長様から「ひびき」掲載文のご依頼を賜りました。

正副を退き、広報委員長を退いてからは、あんなに楽しかったロジ研の活動からも離れるようになり、今では普通の「おやじ」になってしまっている自分にびっくりすると共に、近づきつつある自身の終幕を考えるようになってしまっています(笑)。

今年の9月に北海道の林道で、エゾシカの飛び出しを避ける為に、バイクごと約10m飛び、林道の約2m下の側道に落ちるという事故を起こしました。大切なバイクは全損。全身プロテクターを装着していましたが、落下の衝撃で全身打撲と左小指の骨折と韌帯断裂

という結果となりました(笑)。

仕事ばかりしていて、40歳の時、趣味を見つけるために考えた結果が「バイク」でした。学生の時は親からの反対で、バイクに乗らざるを得ないギターにはまってしまいました。しかし仕事をし始めてから、常に周りに人がいて、一人になる機会がないことに気づき、一人で楽しめる事は何かと考えたときにバイクでのツーリングだと思い、妻を説得して、33時間の教習を経て無事に大型自動二輪を取得しました。アメリカ製のツーリングバイクを購入して、時間を見つけては「風」を浴びに走っていました。自分の思い描いたバイクライフを送ることができ、トラックでの長距離運行のおかげで、北海道を始めありとあらゆる場所を走りましたね。



宿泊地は温泉があるところ、そして、地元の日本酒を頂けるひびれた旅館に宿泊していました。一人の心地よさに酔いしれて、ツーリング期間中は誰とも話さずに過ごすこともありました。でも、それが心地よく感じていました。しかし、逆に会社でのトラブルなどがあったときは考えすぎてしまい、走ることの楽しさから逸脱してしまい、突然帰宅することもありました。

5年前、アドベンチャーバイクを購入し、林道等のオフロードを走るようになりました。自然の中なのでいろいろな場面に出くわします。倒木があったり、沼のような水たまりがあったり。しかし、泥だけになっても、人のいない「道」を走ることは本当に癒されます。現在、毎日のように報道されている熊出没も、北海道では4回ほど遭遇しました。数年前から、クマよけスプレーも持参しています。今回の事故のように鹿が突然飛び出してきて、バイクの前を1kmも2kmも先導をして走ってくれることもあります。エゾリス、シマリス、キタキツネ・・・森の仲間が出迎えてくれます。



そして、山の中でお湯を沸かして食べるカップヌードルは、どの5星レストランにも負けない美味さですね。挽いた豆でコーヒーを飲む。まさしく至福の時ですね(笑)。私も64歳。こんなことが何時まで出来るのでしょうか？この5年間で骨折が3回(笑)。転倒なんて数知れず(笑)。でも一人の時間、自然と同化する時。そんな「贅沢な時」をもう少し楽しみたいと思います。

人生は一度。悔いのない人生を送りたいと強く思ってきたのはやはり年齢のせいでしょうか？ロジ研の皆さんも、業界発展のため、そして、ご自身の人生を謳歌するためにがんばってくださいね。